

平成29年3月8日（水）

（午後2時30分 再開）

○議長（中本正人君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番17、17番 井上君。

〔17番（井上勝彦君）登壇〕

○17番（井上勝彦君）皆さん、こんにちは。大変眠たい時間帯になるわけですが、しばらくの間、目が覚めるような大きな声で一般質問させていただきますので、しばらくの間お聞き届け願いたいと思います。

昨日からもう3日目で、あともう一人おられますけども、最終の段階まで入っておりますので、3日間の間、いろいろと議員のほうから一般質問で、けんけんがくがく当局と議論しておりますところを聞いておりますと、本当にもう橋本市はレベルの高い質問ばかりで、本当に私も、これはもうほんまにだんだんと全国一になるんじゃないかと思うぐらい、自慢をしたいぐらい一生懸命質問していただいております。これは個人的な問題ではなくて、橋本市のまちをどうするかということで一生懸命、誠心誠意を込めて質問されておる姿、これはもうほんまに私も感銘しております。私もその17名の皆さん方に負けんようにしっかりと、橋本市のために質問させていただきますので、当局の皆さんと一緒に、まちを良くしていきましょうということで、一般質問をさせていただきます。

本日の一般質問は、橋本市の都市計画道路の見直しということで質問をさせていただきますと思います。

橋本市都市計画道路というのは、皆さん、説明せいでよくわかってくれておると思いますけれども、都市計画道路とは、都市にお

ける円滑な交通を確保して、健全で良好な市街地の形成を図るとともに、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動を支えるため、都市計画法に基づいてルートや幅員などが決められた都市の骨格となる道路のことですということでもあります。そこで、今回、私は高野口都市計画区域と橋本市都市計画区域を合わせると、34路線、計画延長が73.33kmとなっております。都市計画道路の整備に取り組まれて今まで来ていただきましたが、長期間にわたり未着手、手を着けられていない路線があります。

今後のまちづくりにおいては、人口減少、高齢化社会の到来、中心市街地の空洞化（都市機能の集約、コンパクト化）への変化が求められます。橋本市の将来、真に必要な幹線道路網を設定して、実現性の高い将来幹線道路の構築が必要となります。

そこで、本市のお考えをお聞きしたいと思います。

一つ目は、現在34路線中、全部の廃止をする路線と一部を廃止する路線は何箇所になるのですか。お聞きいたします。

二つ目には、計画決定から数十年たっておりますが、一番古いところは何年ぐらいから決定されたんですか。お聞きいたします。

三つ目には、これまでは都市計画法に基づいてルートや幅員などが決められておりましたが、今後はそれが、今、審議会のほうで審議しておるわけですが、これがなくなると聞いております。見直し後については、どのように取り組むのか、お聞きをしたいと思います。

四つ目は、存続する路線数と今後の取り組みについてお聞きしたいと思います。

それから、五つ目につきましては、市民の皆さま方に広く知ってもらうために、私もきょうはあえて一般質問しているところでありますけれども、見直しについては平成29年2月15日開催の橋本市都市計画審議会における審議を経て決定されておりますが、本市として今後の取り組みと、広く市民に知ってもらうための啓発等についてどのように考えているのか、お聞きをしたいと思います。

以上、壇上での質問はこれで、また、質問席から質問させていただきます。よろしくお願ひします。

○議長（中本正人君）17番 井上君の質問、橋本市都市計画道路の見直しに対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（塙阪 隆君）登壇〕

○建設部長（塙阪 隆君）都市計画道路の見直しについてお答えします。

まず、現34路線中、全部廃止と一部廃止の路線数については、今回の見直しでは、廃止する8路線のうち、全部廃止を行うのが、6路線、一部区間を廃止するのが2路線となっています。

次に、計画決定の一番古いところについてお答えします。

現計画で最も古い路線は、駅前・向島線で、昭和17年に計画決定されています。

また、今回廃止する路線で最も古い路線は、西之島・伏原線で、昭和18年に計画決定されており、それ以降74年近く経過していることとなります。

次に、見直しによる廃止後、どう取り組むのかについてお答えします。

今回の見直しにより、廃止となった路線については、今後、住民の皆さまからのご意見・ご要望もいただきながら、既存道路の修繕や改修をはじめとする実現可能な手法により、

各種課題の解決に向け、取り組みが必要であると考えています。

次に、存続する路線数と今後の取り組みについてお答えします。

見直し後に存続する路線数は、一部廃止の2路線を含め28路線となっています。今後は、非常に厳しい市の財政状況に加え、道路整備を取り巻くさまざまな環境の変化の中で、存続路線の事業着手の時期や整備のあり方についての検討が必要であると考えています。

なお、都市計画道路については、社会経済情勢等の変化に応じ、今後も適宜見直しが必要であると考えています。

最後に、広く市民の方に知ってもらうための啓発等の考え方についてお答えします。

今回の都市計画道路の見直しにあたっては、パブリックコメントを実施したほか、橋本及び高野口地区でそれぞれ住民説明会を開催しました。

今後はより一層、周知・啓発を行う目的で、できるだけ早い時期に、「広報はしもと」に特集記事を掲載するよう計画していますので、ご理解をお願いします。

○議長（中本正人君）17番 井上君、再質問ありますか。

17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）よくわかりました。

まず、一点目の34のうち8路線、13区間ですか、それが廃止なり、あるいは一部廃止ということでもありますんやけれども、それについては、今、説明がありました、まちづくり課が進めております道路の存続と廃止路線については、それぞれのまちを形成していく上で本当に大事なところだと思うんですけど、道路形成していく上ですね。そこで、この建設部のみだけじゃなくて、先ほど議員からもありましたけど連携、まちを進めていく上では経済部ももちろん関連してくるだろうし、

消防も関連してくるだろうし、それぞれの課においてどのような連携をとられておりますか。まず、それを先にお聞きします。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）都市計画道路の廃止について、そのまま計画が実現しますと可能であったといいますか、解決したいろいろな問題があると思います。それについて、廃止によってどういった取り組みをしていくかということについては、建設部はもちろんでございますけれども、関係するいろんな分野からの取り組みって必要やと思いますけれども、そうしたことについて、各部長にもこの計画の変更についてはご理解をいただいて、協議もしながら、進めていく必要があろうかなというふうに思っております。

○議長（中本正人君）17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）今、建設部のほうで、この計画についてはもっと早く見直しをしてほしいなということで、私も何回か一般質問したことあるんですけども、いつまでもほっておいても、まあいうたら、線を引かれてしまって、民間の工事等にも非常に困難を来したというところで、高野口においても、できやんもんをいつまでもほっとくと。その幅員とか、建屋の高さなんかでも制限がありますね、都市計画法に基づいて。それで、結局、まちの形成が、そこにちょっとしたものを建てたいと、3階建て建てたいと言ったって2階までしかあかんよとか、そういう規定があって、非常に難しい面がありました。

そういうこともあるので、私が今聞きましたのは、部長だけではなくて、今廃止になるこの路線と、それから、存続する路線については、橋本市全体の問題にかかわってくるので、やっぱり見直しをかけていただいた、要するに、まちづくり課を中心にして、それぞれの部署なりときちんと、全体として認識し

ていく必要があると違うかと、企画ももちろんそうですけども、まちを一つの形成していく、道路はやっぱり、ここはなくなってこれ以上広くなりませんよとか、消防、あと、ほんなら、それ以上、この裏もそうですけど、広くならんんだら、そこへ火災が起きたときには軽自動車を配置しとかなあかんとか、いろいろなまちを形成していくために、この道路の、やはり一番大事な都市計画決定というのは、34路線、橋本市全体にまたがっておるんで、新しい道も道路もついた。だから、ここは廃止するんやということをやっぱり、みんなで認識しとかんと、我々も認識せなあかんですけども、まず、やっぱりそういうことで、経済部においても、やはりまちの形成、これからどういうふうに、要するに、観光を呼び込むのにどういうふうにしたらええか。

この道路が今度廃止になったもん、そこ、広くならんやから、そこをどういうふうなまちにするかということも、やっぱりそこで考えていかんなん、今、時期に来ておるんと違うかなということで、ようよう立ち上がってくれたんで、私は喜んでおるんですけども、ここで、やっぱりこの都市計画法という法律を、もういっぺん見直して、そして、まちの形態を変えていこうということで今やってくれておると思うんやけども、これはいいことなんですけども、やっぱり全体で取り組んでいただきたいなと思うんですけど、部長だけじゃなしに、勉強会というのは持ちませんか。部長どうですか、建設部長。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）確かにおっしゃりますとおり、全市的な課題としてとらまえていかなあかんと思っておりますので、そのあたりについては今後の課題とさせていただきますと思います。

○議長（中本正人君）17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）いや、今後の課題やなくて、もう2月に決定されたんやから、勉強会しませんかという、勉強会すぐにしたらええんと違うんですか。勉強会せんと今後の課題って、その答弁がおかしい。もういっぺん答弁してください。

○議長（中本正人君）副市長。

○副市長（森川嘉久君）これ、内部検討会議においても、井上議員ご指摘のような点が、もちろん廃止等をされますと影響が出てまいりますので、いろんな面からちょっとコンサルタントの力も借りまして調査を行っております。廃止した場合、どういう影響が出るかというような視点を持って、ちょっと何点か検討項目があったんですけども、その評価を行った上で、今後、着工の可能性がない、それから、住民に対する影響も少ないというような視点で廃止を検討してきた経過がございまして、これにつきましても、ちょっとメンバー、今すぐに思い出せないんですけど、私も当然入れていただいた中で、検討をさせていただいて原案をつくったわけでございます。

それから、これは井上議員もご出席いただいでご協力をいただいたわけでございますけども、民間の方にたくさん入っていただいた都市計画審議会、各方面の委員に入っていた道路関係者だけではなしに、ご指摘の点からも見ていただけるような関係者も入っていただいた中で、先日ご審議をいただいて、決定をいただいたわけでございますので、それで了承されたということで、今後、おっしゃる点はもっともな点がございまして、庁内関係のところ、もちろん都市計画自体を勉強しないといけないわけなんですけども、そこらも含めまして、一度、こういうことに変更になったということは、きちっとした形で周知をさせていただきたいというふうに思います。

○議長（中本正人君）17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）副市長、そのとおりでございます。早く、もう決定されておりますからね。私は何も、これからほっとくさかいに具合が悪いと言うておるんと違いますんで、まちを形成していくためには、都市計画道路というのは、長年、昭和17年といたら、私、生まれた年なんですわね。74年間、決定されたまま何も手つかずで、未着手という都市計画道路やしね、一番古いやつでやで。ほんで、18年とか、30年、40年、そのままずっともう規制されたまま、ほっとかれたと。

もう高野口も早いこと廃止にして、自由じゃないけどもある程度一般道路として、道路を広げていくなら広げていくようにして、別に、これ、廃止になったさかい、その道は全然使わんのと違って、部長、もういっぺん聞きますけども、その辺については、一般予算でできる限りは、一部、広なしたり、そういう形で自由に一般道路として進めていけないんですか、いけるんですか。ちょっとお聞きします。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）廃止後につきましては、基本的には、やはり単独といたしますか、そういった形での対応になると思います。なかなか、新設道路でありますとか、幅員は当然、狭くなりますけれども、新設でありますとか、大規模な拡幅とかというのはなかなか難しいと思うんですけども、いわゆる部分的な拡幅であったり、修繕であったりという、そういうことにつきましては、要望等もいただく中で、対応はしていかなければならないというふうに思っております。

○議長（中本正人君）17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）そういうことで、別に規制を早く外していただいたら、先ほども私、同じことを言いますが、民間の住宅開発、

その他につきましても、ある程度、高さ制限も外されるし、旧高野口町については無指定って、理事もご存じやと思うけど、無指定やしてな、高野口町は。旧橋本市は指定されておるわけやな、商業区域とか、何とかかんとかって、その区域が住宅地とかということで、高野口が農業振興区域とは別やけども、そういう無指定になって進めよかった。

しかし、一方、こういう都市計画決定されたところについては、要するに、全然、動かれへんようになる。開発も、まちづくりそのものも非常に難しかったということは、経済部長も高野口におったんでよう知ってくれと思う。そういうことで橋本市は、良きにしる悪きにしる、ようよう立ち上がってくれたんかなということで、一方では、この間も副市長がおっしゃたように、私も委員会の委員の1人で入っておりましたけれども、ようやく外していただいて、ほんまにということで、一級建築士の先生やったか知りませんが、その人も入っておまして、ようよう橋本市も動き出したなど。70年も80年もほっとかれて、大分しんどかったやというような意見も出ておりました。

一方では、このまま廃止されたらほっとかれるのと違うかと、自治会に対して十分な説明をされとれへんのと違うかというようなことでお叱りを受けました。それは自治会からの意見やったと思うんですけども、そういう意見もあるわけで、私はふと思ったのに、やっぱりまちを形成していく一番大事な重要な道路でありますので、各課にまたがってまちづくりをしていく上で、かなりしんどい思いもしているところもあると。そういうことで、せめて各部、各課にまたがって、やっぱりこの一番重要な、もちろん下水もこれ、入っておると思うんやけど、そういうものをやっぱり全般として、この重要な廃止路線、

それから、存続路線というものだけでもいち早くお配りをしていただいて、そして、どこがどういう廃止になっておるんかというようなことでも、これ、皆さん、職員に回すのにコピーそんな要らんと思うんで、副市長、これ、やっぱり、即、勉強会というんかを持っていただいて、こんだけ立派にちゃんとまとめていただいてあるんやから、これはやっぱり皆さんに、今度、経済建設でもやりませうけども、これ、報告だけになってしまうんで、結局、各課にまたがると思うんでね、この道路というのは。やっぱり、みんなで共有してもらいたいと思う一心で、また、一般質問をさせていただくことによって広く市民に知っていただくと、こういう意味においても私、させていただいておりますので、決して廃止したのがだめやと言うんではないんです。取り組んでいただいたことについては、ものすごい喜んでおります。

遅まきながらも、平木市長がこうして取り組んでいただいておりますということについては、私も喜んでおるんやけども、それはそれでええとして、良きにして、一応、はよ終わりたいということで、終わらせていただきませうけども、市民に対する啓発等について、部長からそういう広く啓発を進めていきたいということなんですけれども、再度、この点について、市民に対するそういう説明会というんですか、きちんとわかっただけのように、まず課でも取り組んでいただくんですけども、全体として考え方として、どういうふうに説明、啓発をしていくのか、最後、もう一度、お聞きします。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）先ほど壇上でもお答えをさせていただきましたけども、これまで決定に至るまでは、橋本市、高野口、両地区で説明会を開催させていただきました。た

だ、それでも、なかなか参加の方というのは少のうございますので、より皆さんにわかっていただくということで、今回、広報でということになりますけども、そこで特集ということで、多くの方が見られると思いますので、そこで特集記事を組んで、できるだけ多くの方に内容についてわかっていただくような、わかりやすいまた内容にもして、啓発、周知を図っていきたいと思っておりますので、ご理解のほど、お願いいたします。

○議長（中本正人君）17番 井上君。

○17番（井上勝彦君）それでは、そういう形で、特集ということで、広報でちゃんと周知をしていただくということで、ちょっとお金がかかりますけども、大事な路線、道づくりというのは、まちづくりをする上では非常に大事なところでありますので、もちろん教育委員会も知ってもらわなあかんし、各課、各班にわたってやっぱり、みんなで共有していけたらなと思います。

歩道をつつくるんでも、この道は広くなるんやな、これはこのまま広くなれへんのやなということ子どもたちにも知ってもらうのにも、事故を起こさないように、これはもうやっぱり、路線というのは、そういう形で大事なとこやったらまちの中を行くんやから、この道は今度は広くなれへんさかい救急車は入れへんな、病院も関連するわな。そういうことで、やっぱりそれぞれの課で、みんな共有していくと、まちを、道路を廃止するのと広くしていくのと、どことどことが今後、先には広くなるねん。今後はここ絶対広くなれへんのやなというようなことを、やっぱりみんなで勉強していくべきやと思いますんで、ひとつよろしくお願いを申し上げます。

都市計画のこの決定について、今後、残された存続していく道路もあるわけですけども、財政難、厳しい折でありますけれども、その

全体的な道路の形態というんか、まちづくりについて市長の所見をお聞きしまして、私の一般質問を終わりたいと思いますので、ご所見をよろしくお願いたします。

○議長（中本正人君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）井上議員の質問にお答えをします。

道路というのは確かに大変大事な、まちづくりを形成していく上で非常に大事やというふうな認識を持っております。都市計画道路につきましては、長年計画はあったけど全く何も動いてないものは、当然、もう廃止していくということは、井上議員が生まれたときから何もできなかったところについては、もう将来的にもする要素がないのかなと思いますし、やはり、必要なまちづくりに関しての道路づくりというのは、今後とも考えていく必要があるのではないのかなというふうに思っています。何にせよ、これからのまちづくりにとって道路は欠かせないものであると思いますので、その辺は諸事情を鑑みながら、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

○17番（井上勝彦君）これで、一般質問を終わらせていただきます。

○議長（中本正人君）17番 井上君の一般質問は終わりました。